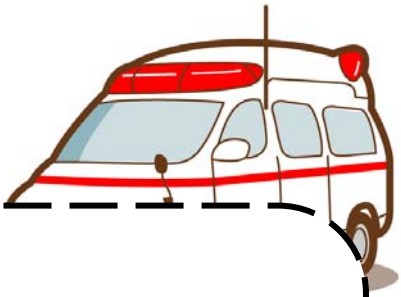
いざという時にご準備を！

１月の末に、今では珍しくもなくなってきた救急車がたて続けてホ号棟に来ました。
いずれも比較的高齢の方ですが、脳や心臓に一大事があったようです。
現在、お二人とも快方に向かっているようですが、倒れた当座は家族も大混乱だったようです。
救急隊の人達は、駆けつけた時に必ずかかりつけ医や薬の種類、病院の希望などを尋ねます。その時にあわてて間違った事を言って初動を誤らないようにしたいものです。
また、１人暮らしや高齢者夫婦などで、一方が居ない時に救急状態が起る場合を想定して、その時に慌てないような準備をしておくことが大切です。
緊急時に適切な対応をしてもらえるように、もう一度身のまわりを振り返って、常日頃から下記のようなものをわかりやすく準備をしておきましょう。



- ~~保険証のコピーまたは番号~~
- 病院の診察カードまたは番号
- 服用している薬の種類がわかるもの（手帳など）
- 印鑑
- 生活用品（寝衣・下着・洗面用具・湯のみ・ティッシュペーパー等）
- 緊急連絡先

入院時の他、地震などの災害時の備えにもなり、１人暮らしのお年寄りはもとより、一般の家庭でも安心した毎日を送るために・・・準備をしておきましょう。